

1. 富山市の現状(人口動向)

- 本市の人口は平成22年をピークに減少に転じ、平成17年から令和2年で約1.7%減少。
- 令和2年から17年では更に減少割合が増加し約6.5%の減少（2.7万人程度）が見込まれる。

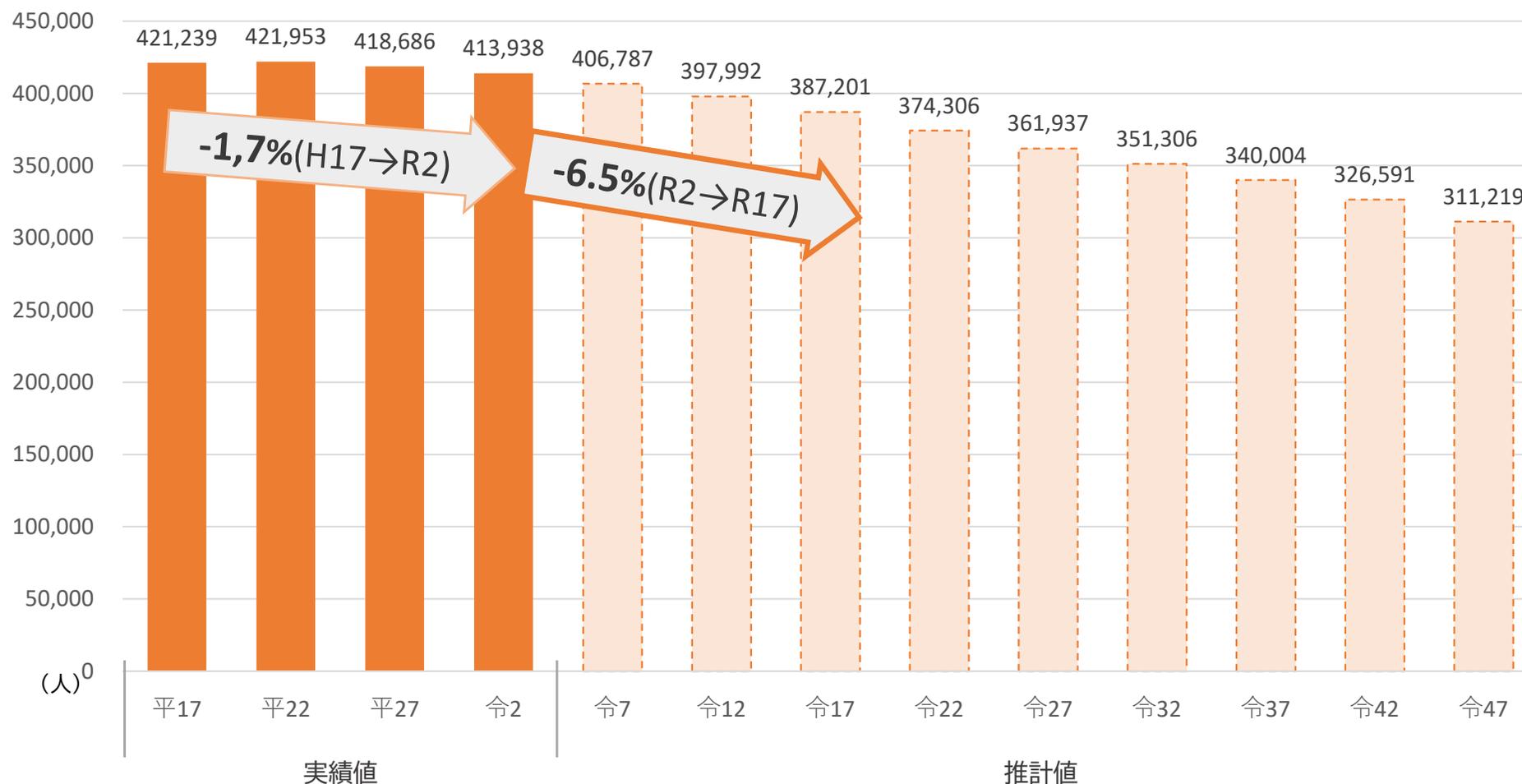
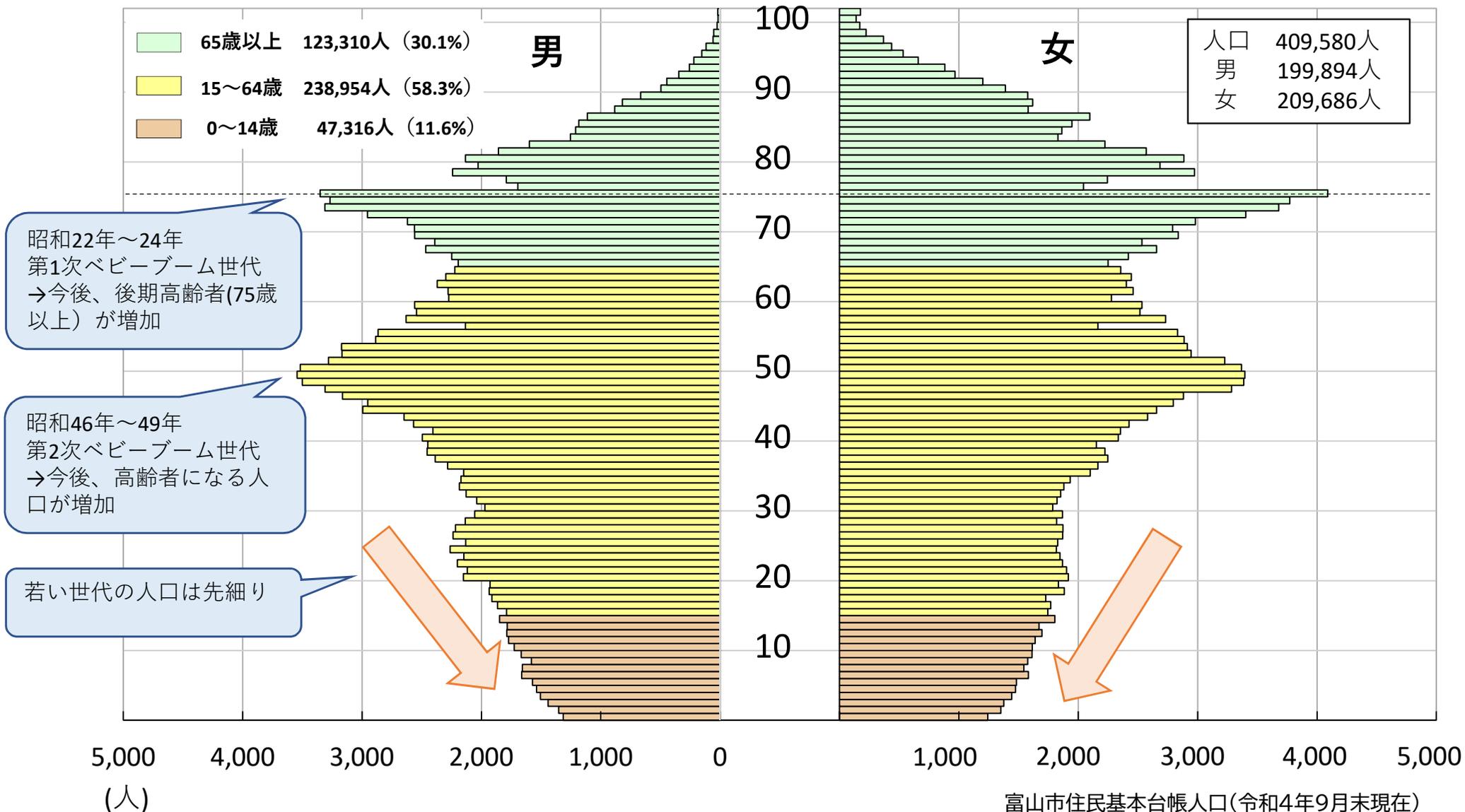


図 富山市の人口推計

出典:国勢調査(R2)、推計値:富山市将来人口推計報告書(R1)

1. 富山市の現状(年齢別人口)

- 今後、第1次ベビーブーム世代が**後期高齢者(75歳以上)**となる。
→免許返納数が増加し、公共交通のニーズが高まると考えられる。



1. 富山市の現状(年齢別人口動向、世帯数動向)

- 年齢別人口予測は**高齢者（65歳以上）人口は令和22年まで増加が予測**されている。
- 世帯数は今後もしばらくは増加し、令和12年度をピークに緩やかに減少に転じる予想。
- 一方、**単独世帯が令和42年まで増加予測**。

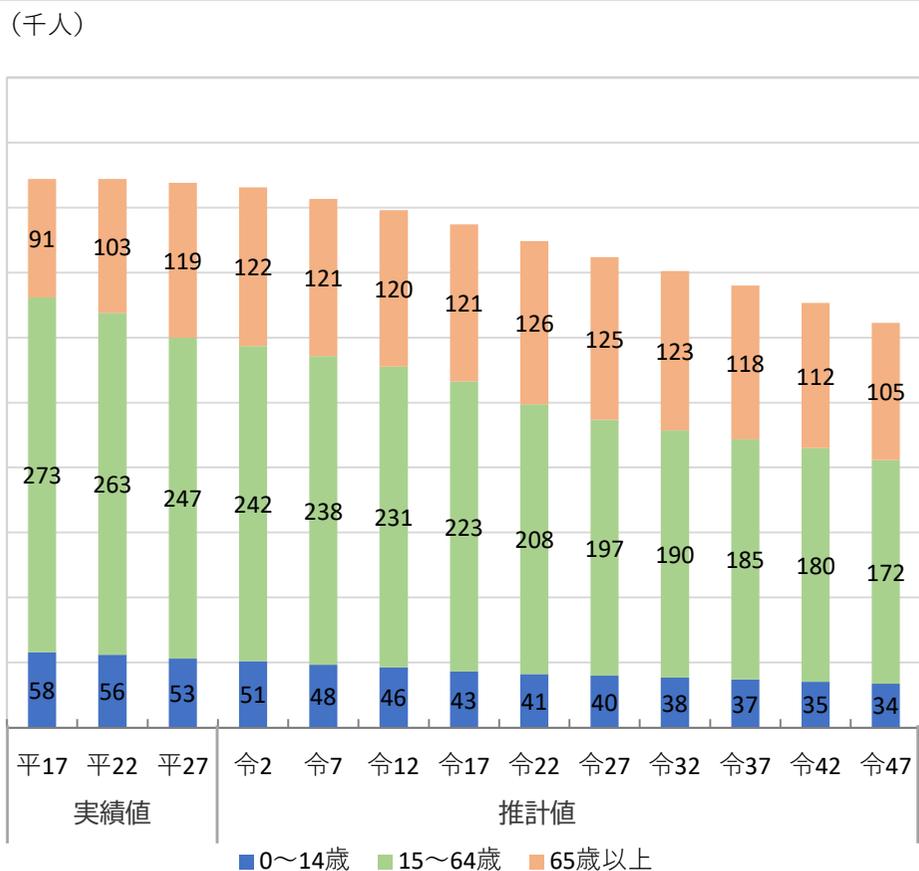


図 年齢別人口の予測
出典:富山市将来人口推計報告書(R1)

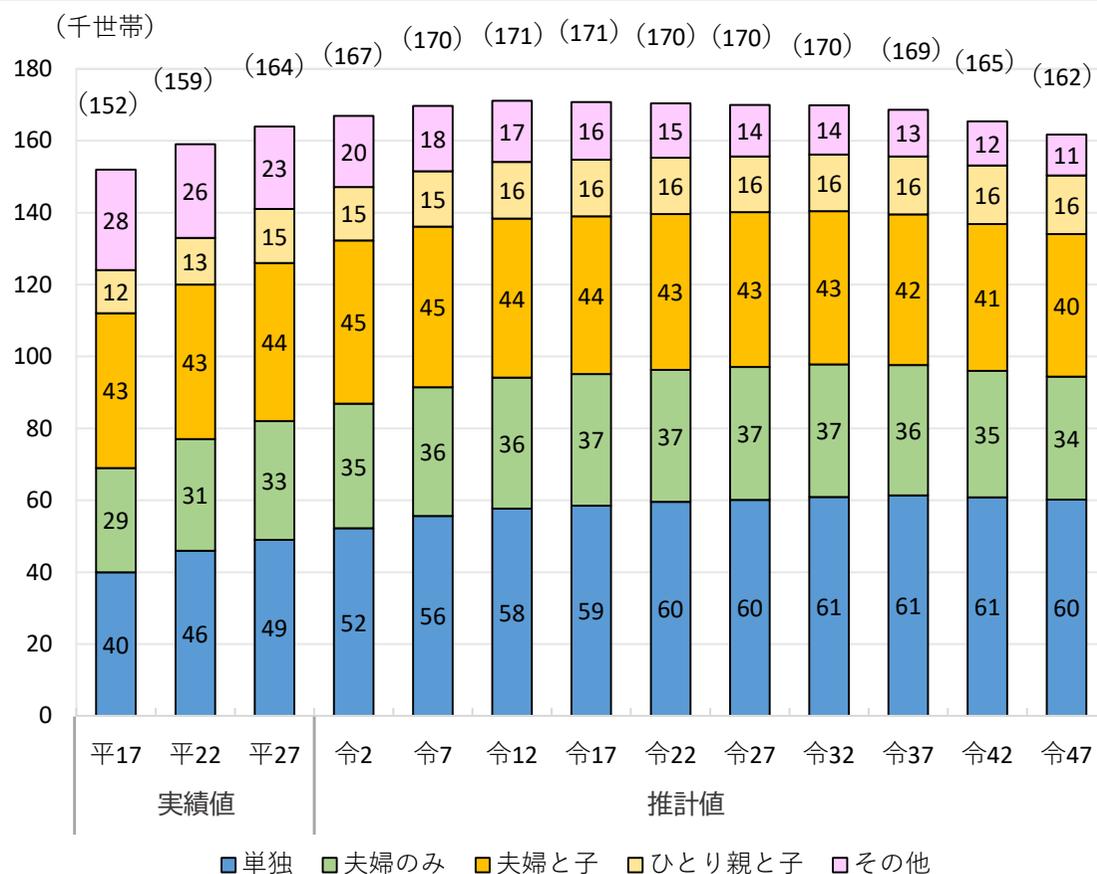
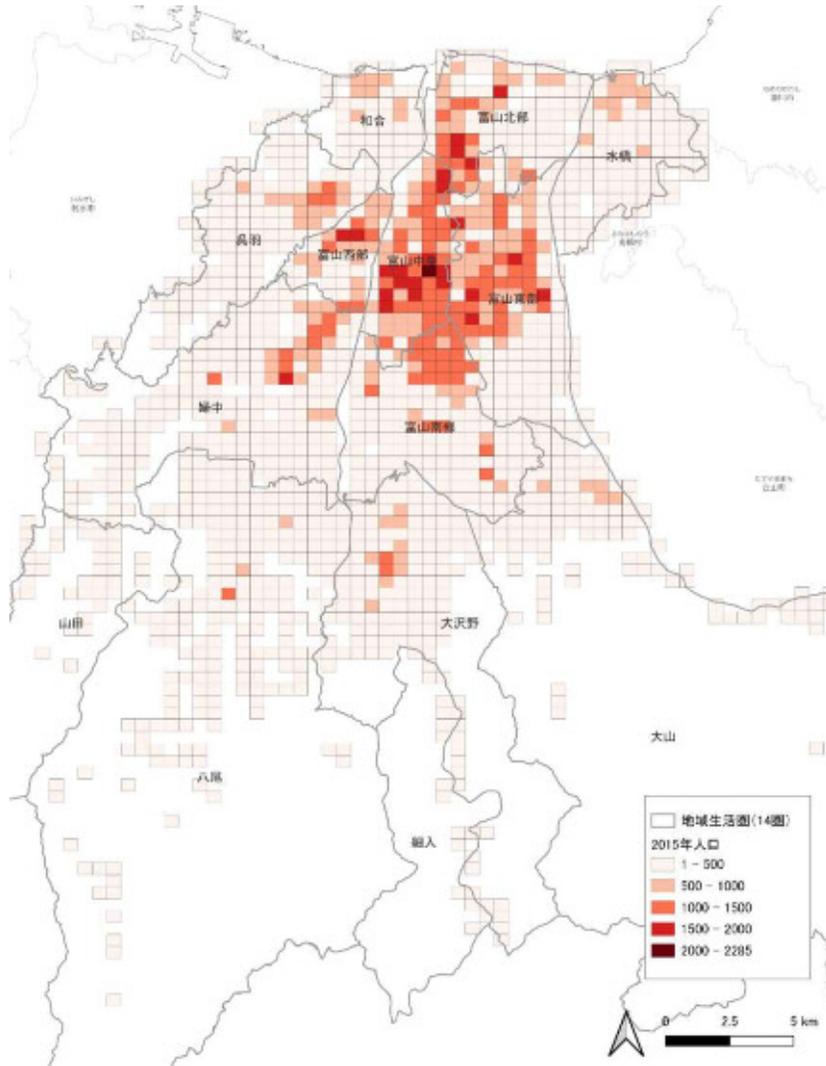


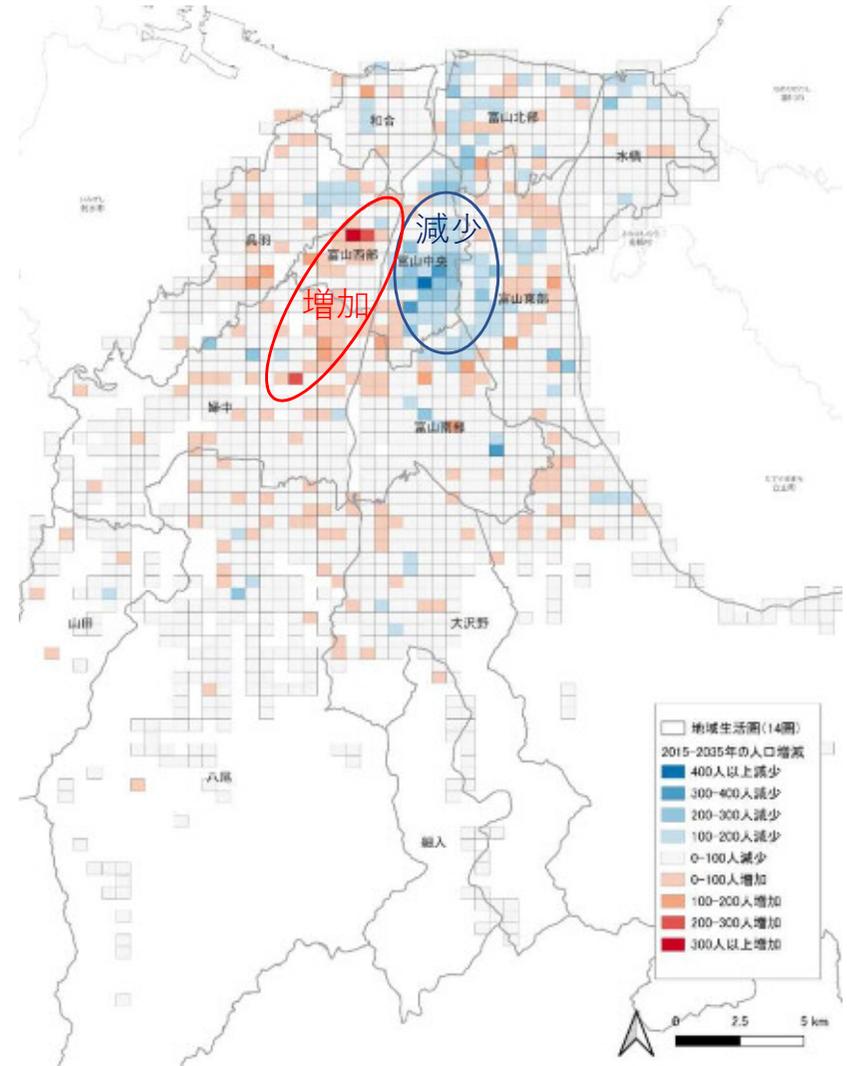
図 世帯数の予測
出典:富山市将来人口推計報告書(R1)

1. 富山市の現状(地域別人口)

- 人口は都心部に集積しているが、平成27年（2015年）から令和17年（2035年）の20年間ににおける人口増減の分布をみると、**富山中央地区の人口が減少する一方、主に富山西部や婦中地区、郊外で人口の増加が予測**されている。



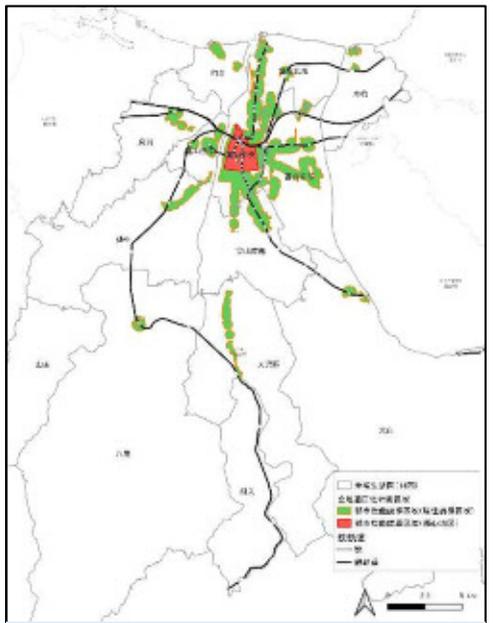
出典:H27国勢調査



出典:H27国勢調査

1. 富山市の現状(施設立地:行政施設、病院)

- 行政施設は中山間地域を含めた市域全体に立地。
- 病院は富山中央エリアを中心に立地しており、中山間地域では病院のない地区も存在。



参考：都市機能誘導区域(立地適正化計画)

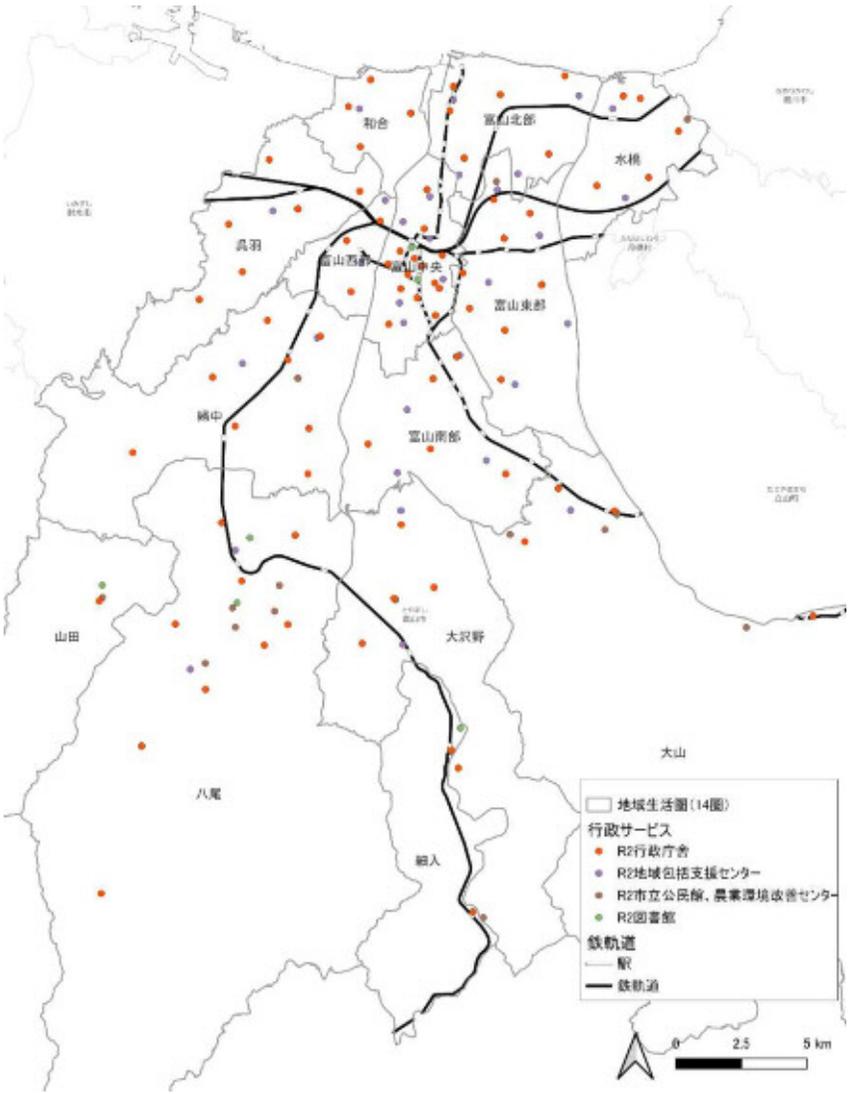


図 行政施設

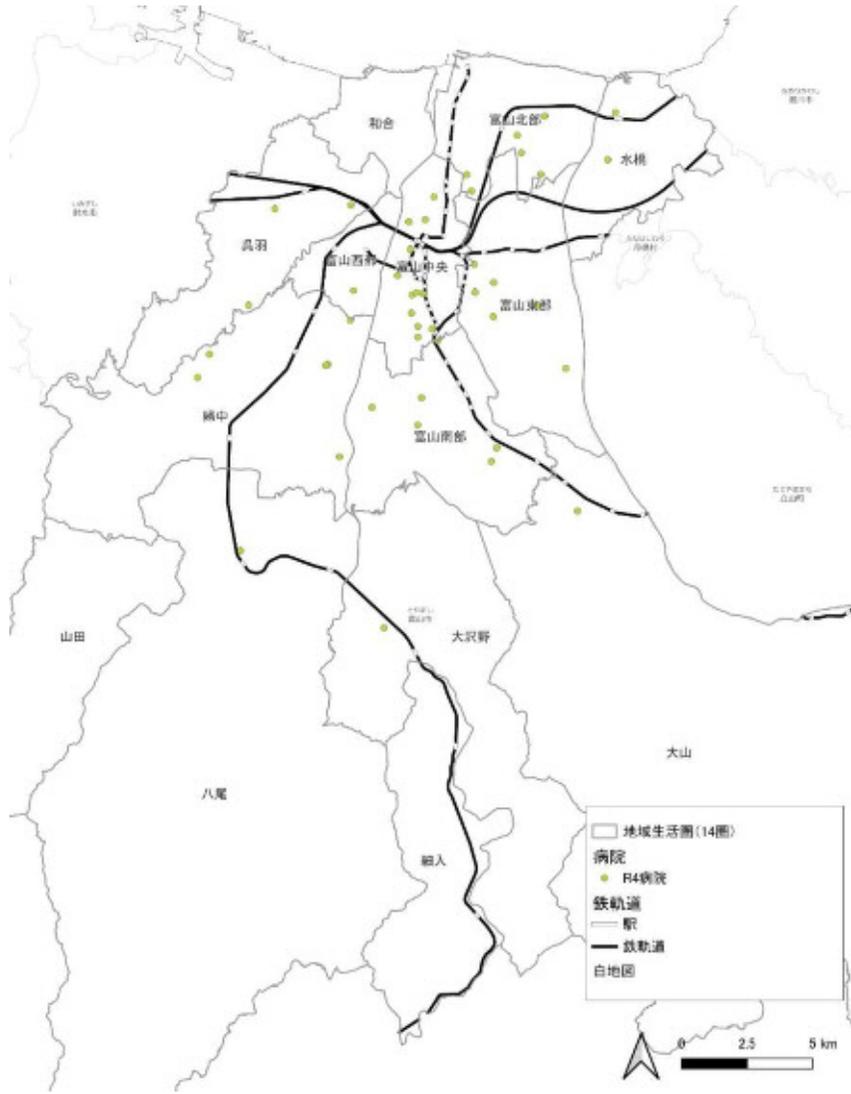
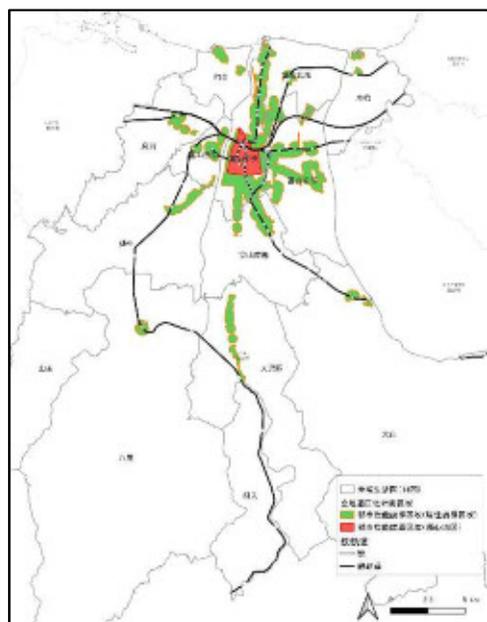


図 病院

1. 富山市の現状(施設立地:商業施設、金融機関)

- 市中部にスーパーが集積している一方、**中山間地域ではスーパーが少なく、相対的にドラッグストアや食料品が多く立地している。**
- 金融機関は市域全体に立地**している。



参考：都市機能誘導区域(立地適正化計画)

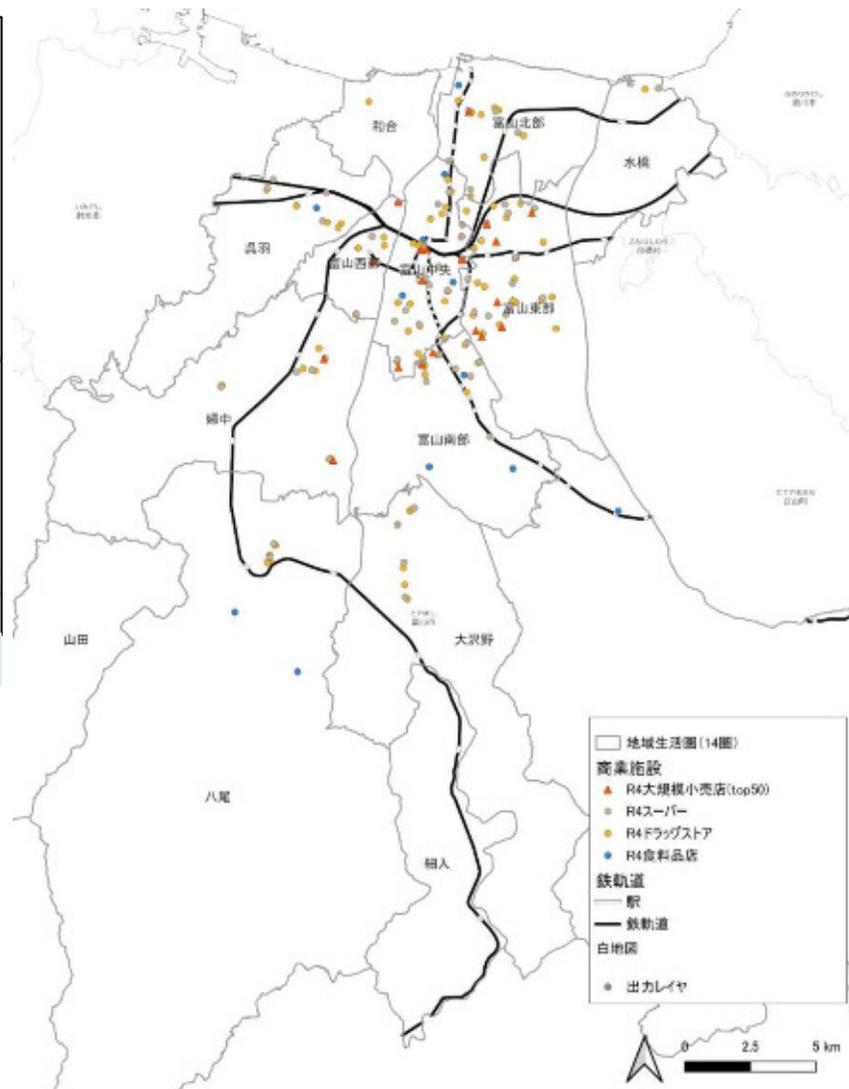


図 商業施設

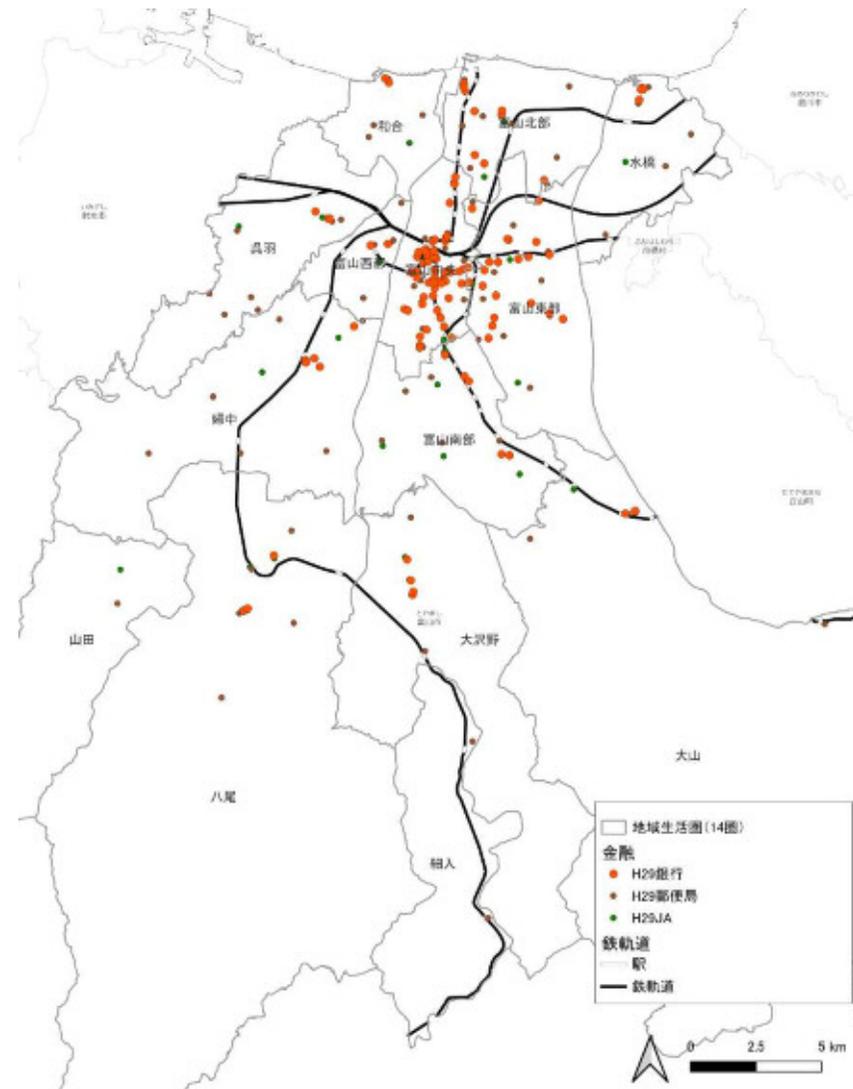


図 金融機関

2. 交通の現状(自家用車保有、交通手段)

- 都道府県別の**自家用車保有台数（世帯当たり）**は**全国2番目**に多い。
- H26、R1、R4の市民意識調査結果より、**平日の交通手段に車を利用している方が増加**している。

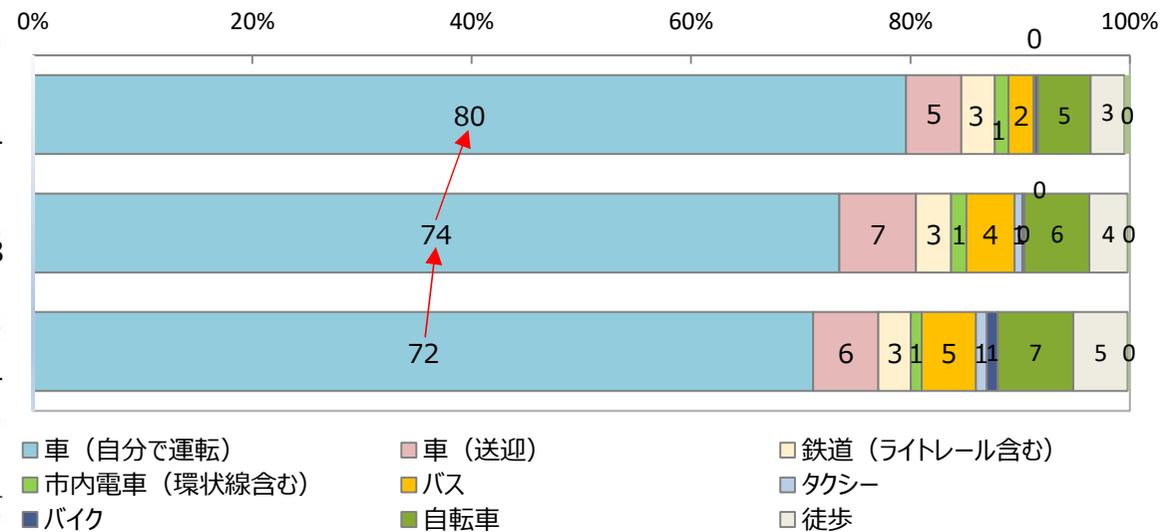
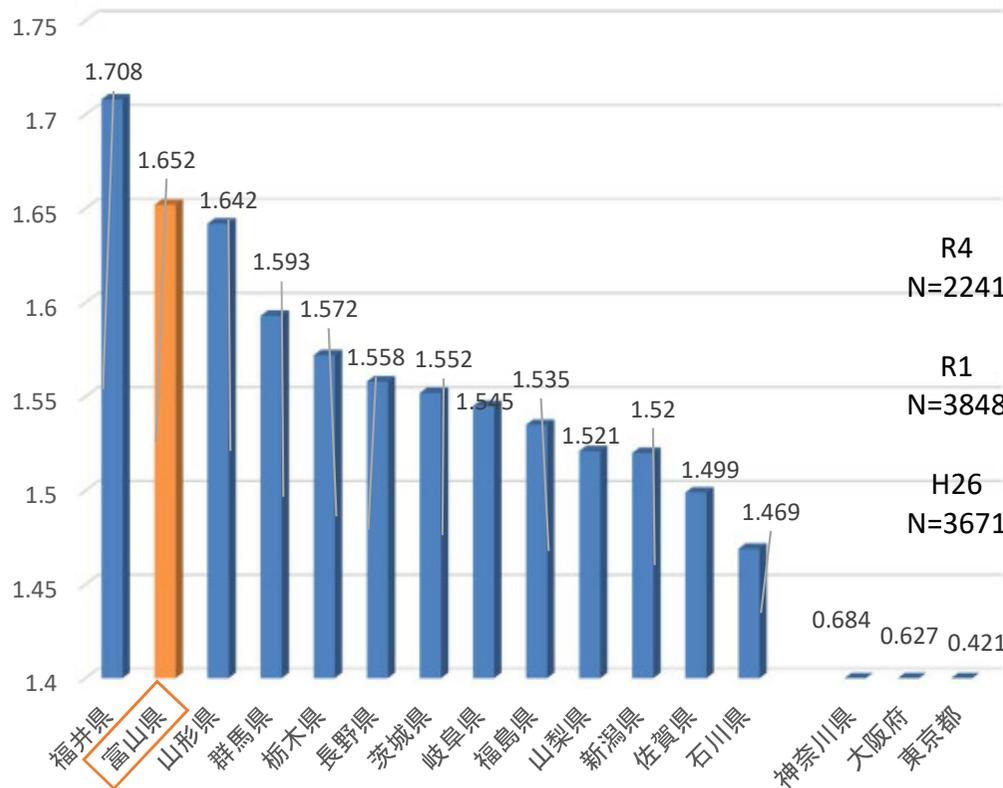


図 平日の最も多い交通手段

図 都道府県別 世帯当たりの自家用車保有数

出典:(一社)自動車検査登録情報協会(R4.3時点)

2. 交通の現状(自動車免許の返納)

- **免許の返納数はR1まで増加傾向**であったが、ここ2年間は減少している。
 →ここ2年間は全国の合計値も減少しているため、新型コロナウイルス感染拡大の影響と考えられる。

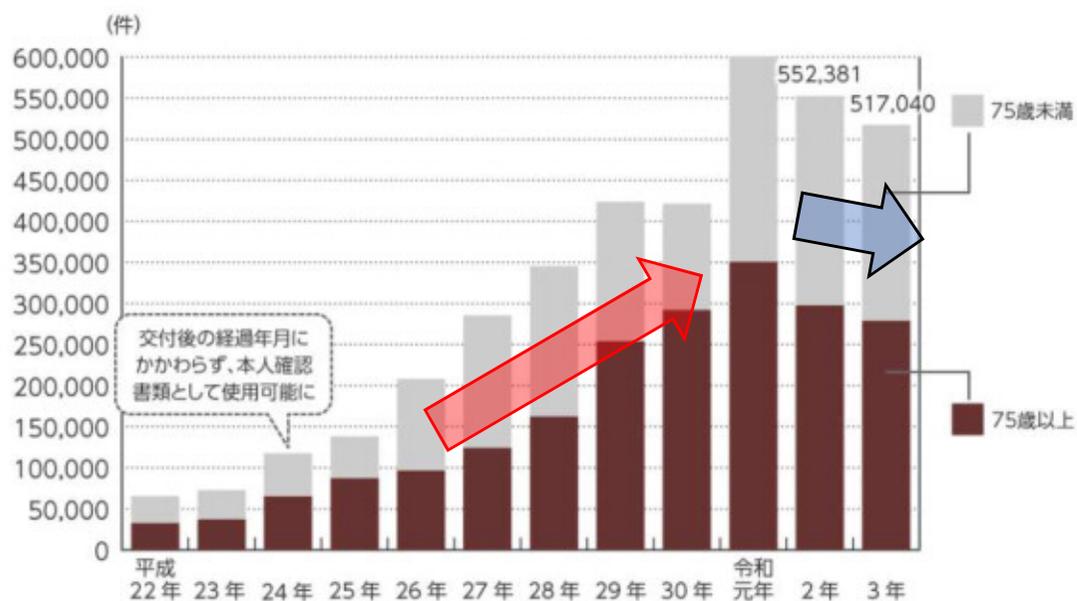


図 免許返納数(全国合計)

出典:政府広報オンライン(R4)

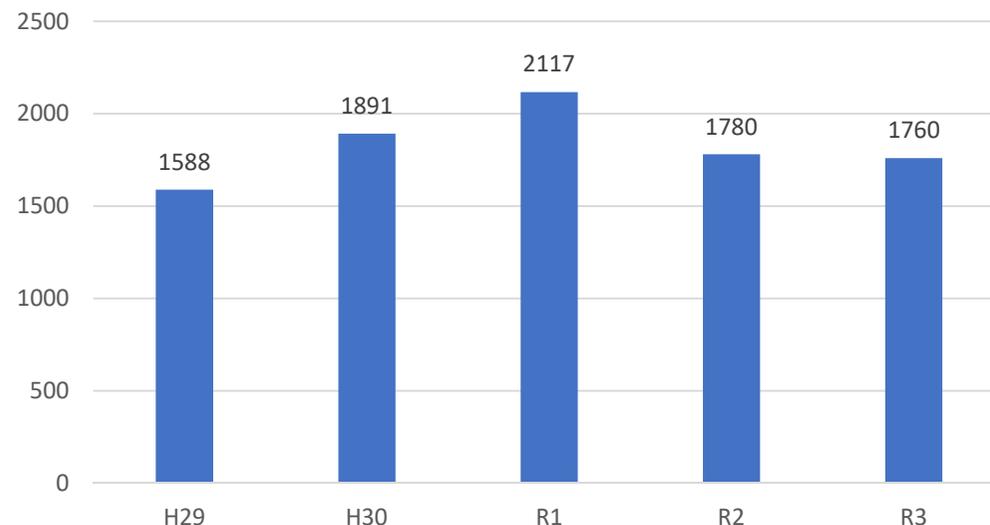


図 免許返納数(富山市)

出典:運転免許センター(富山市)

2. 交通の現状(公共交通の利用可能な圏域)

- 公共交通の利用可能な圏域には**市全体の98.1%が居住。**

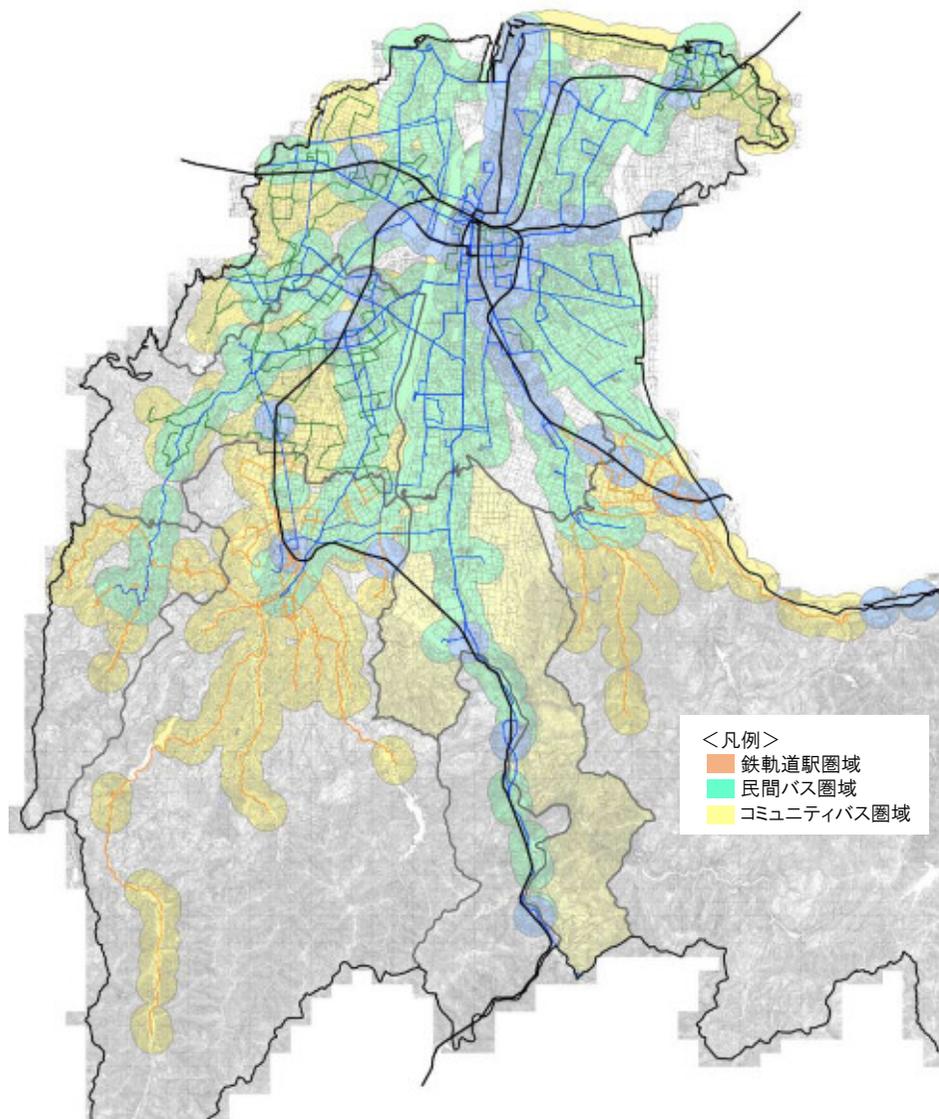


図 鉄軌道・バス路線750m圏

【公共交通の利用可能な圏域に居住する人口及び割合 (R3)】

	人口	割合
富山市	412,416	-
公共交通の利用可能な圏域	404,754	98.1%
鉄軌道+路線バス	377,148	91.4%
コミュニティバス	27,606	6.7%
公共交通空白地域	7,662	1.9%

<公共交通の利用可能な圏域>

- 鉄軌道駅、路線バス停から750m (道のり約1km) の圏域
 - すべての鉄軌道 (6路線)、路線バス (61路線)、コミュニティバス (33路線)
 - ※大沢野地域はシルバータクシーのサービス圏域

【コミュニティバスの運行区分及び運行地域 (R3年度時点)】

運行区分	運行地域 (平日総運行本数:バス停数)
市直営	大山(20本/日:120バス停)、八尾(56本/日:293バス停)、山田(12本/日:49バス停)
市委託	大沢野シルバータクシー
自主運行	呉羽(22本/日:114バス停)、水橋(8本/日:132バス停)、婦中(16本/日:166バス停)、堀川南(8本/日:14バス停)、中心市街地(まいどはや42本/日:70バス停)、フィーダーバス(129本/日:27バス停)

2. 交通の現状(公共交通の利用者数)

- 公共交通の利用者数の推移を確認すると、令和元年までは増加又は維持。
- 市内軌道線は平成22年から令和元年までの10年間で約1.4倍の増加。
- 令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により前年度に対して約25%減少。
- 令和3年度は、再び増加に転じている。

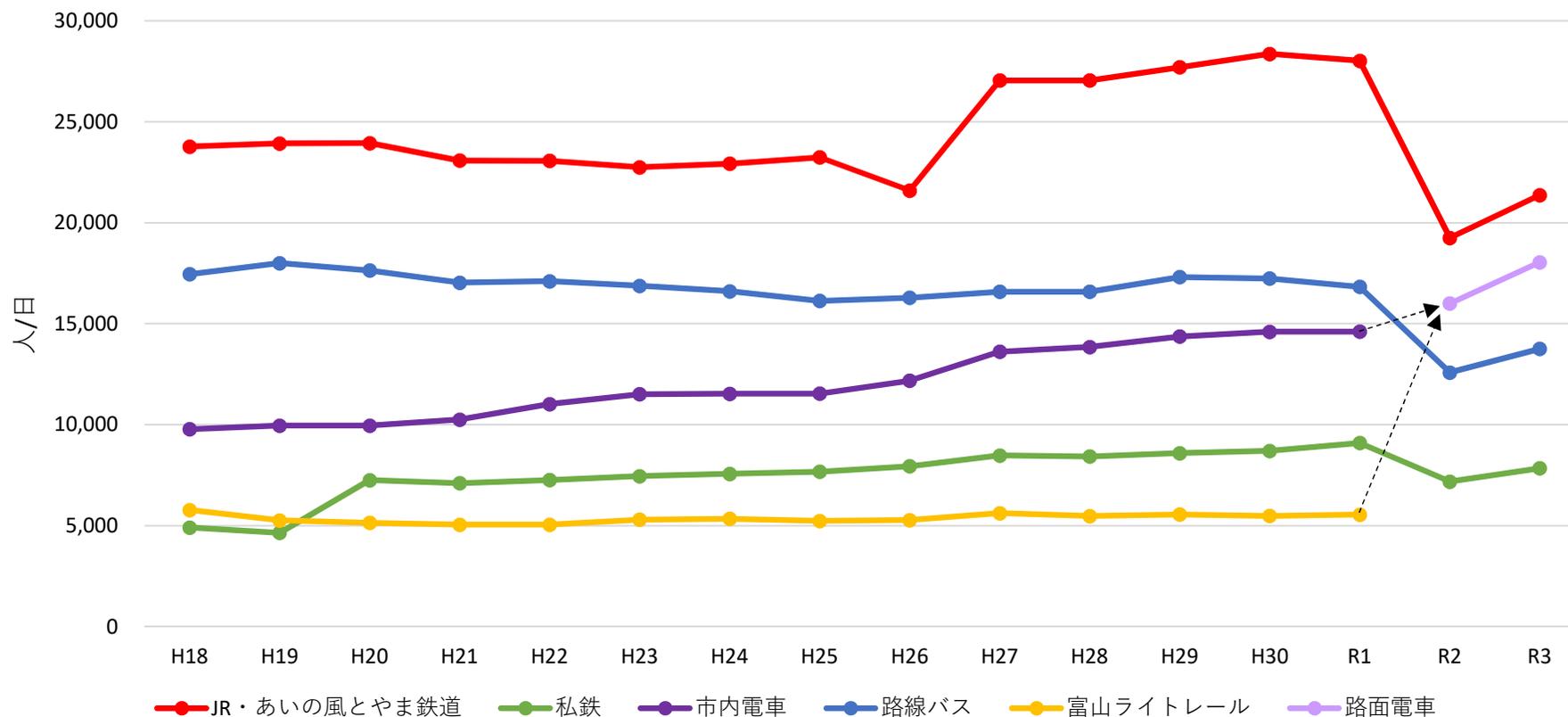


図 公共交通利用者数の推移

資料: 富山市統計書、富山地方鉄道(株)